

大学院農学研究科食料生産学専攻農業生産学コース  
植物病学教育分野（助教）の公募期間延長について

1. 対 象 者

(1) 所属・職名 : 大学院農学研究科 食料生産学専攻 助教 1名  
教育組織 : 農業生産学コース

(2) 教育分野 : 植物病学

植物病原糸状菌の形態形成と感染戦略、ならびに宿主植物の抵抗反応を物理・化学的手法を用いて細胞学的に解析する。さらに、その基礎的成果により植物病害の全体像を把握し、生態系との調和を図りかつ持続性のある新しい防除技術への確立を目指した教育研究を行う。

(3) 資格条件 : ア. 博士の学位を有する者又は取得見込みの者  
イ. 植物病原微生物、特に真菌の病原性因子について分子生物学的研究に業績を有する者  
ウ. ハダカムギ、カンキツ等の愛媛県の重要作物に関する学内の研究グループの一員として研究を展開できる者  
エ. 教育分野のみならずコースや研究科、附属農場の運営に積極的に参画・協力できる者  
オ. 決定次第、可能な限り早期に着任できる者

(4) 任期 : 5年（テニユア教員育成制度）

※ 愛媛大学のテニユア教員育成制度は、優れた能力開発プログラムを提供することに加え、財政的支援（研究費の配分等）を行うことで、若手教員の教育研究環境を充実させ、大学人としてふさわしい総合的な能力を有する教員を育成することを目的としています。任期中に審査に合格した者はテニユア職（終身雇用）に移行します。詳しくは、注）をご覧ください。

(5) 雇用条件 : 給与は、年俸制を適用する。

(6) 担当授業科目 : 大学院 インターンシップⅠ及びⅡ（分担）、外書講読（分担）、食料生産学特別演習（分担）、食料生産学特別実験・実習（分担）、農業生産学研究（分担）、農業生産学演習（分担）、農業生産学実験・実習（分担）

学 部 植物病理学概論（分担）、植物病理学各論（分担）、植物保護学（分担）、現代農業論（分担）、農業生産学概論（分担）、作物保護学実験（分担）、農場実習Ⅰ及びⅡ（分担）、専攻セミナーⅠ（分担）、外書講読・セミナー（分担）、インターンシップⅠ及びⅡ（分担）、農学実習ⅠA（分担）、卒業論文（分担）、その他共通教育、教職科目

2. 提 出 書 類

(1) 履 歴 書 : 所定様式 1通

(所定様式は下記からダウンロードしてください。  
<https://www.agr.ehime-u.ac.jp/outline/inquiry>  
お問い合わせ>教員公募に関すること>履歴書様式)

(2) 研究業績等目録 : A4版横書き（論文別刷り、著書及び参考資料各添付\*）

学位論文—題目、年

著 書—書名（編、単著、共著、分担）、総頁数、著者等（分担項目、頁）、出版社、発行年

学術論文—全著者、年、題目、誌名、巻（号）、通頁

参考業績—学術論文に準ずるもの、特許・外部資金獲得・社会貢献等の実績  
なお、口頭発表は件数のみで可

教育実績—担当授業科目、場所、期間

\*学術論文別刷りについては、すべてPDFファイルにして、記録媒体

(USB又はCD-R等)で提出する。その他の業績は、PDFファイル又は紙媒体で提出する。

(3) 現在までの教育研究内容の要約（800字程度）

- (4) 着任後の抱負（800字程度）  
\* 教育・研究・社会貢献・管理運営等について記載すること。
- (5) 博士の学位を未取得の者は、取得見込みを証明できる書類
- (6) その他参考となる資料

- 3. 応募期日：令和5年10月2日（当日消印有効）  
（書留等確実な方法を用い、当方から連絡する場合の宛先、電話番号及びメールアドレスを明記のこと）
- 4. 送り先：〒790-8566 松山市樽味3-5-7 愛媛大学大学院農学研究科長  
（封筒に「植物病学教育分野」と朱書のこと）
- 5. 選考方法：一次：書類選考  
二次：面接及びセミナー  
（但し、旅費等の経費は自己負担とする。状況によりオンラインでの実施も可能。）
- 6. 問い合わせ先：農学部総務チーム 電話 (089) 946-9803  
FAX (089) 977-4364  
e-mail: agrshomu@stu.ehime-u.ac.jp  
※メールの件名を「植物病学教育分野公募」とすること。
- 7. 公募書類の送付先：所定

[付記]

コースの状況（令和5年8月30日現在）  
専任教員：教授6、准教授4、助教2  
[うち植物病学教育分野 准教授1]  
兼任教員：教授2、准教授1、助教0

農学研究科ARG農学研究科研究グループ「スピード育種システム研究グループ」のURL：  
<https://www.agr.ehime-u.ac.jp/arg/speed-breeding.html>

農学研究科附属ハダカムギ開発研究センターのURL：  
<https://www.agr.ehime-u.ac.jp/cdhh/>

- (1) 本学は、男女共同参画社会基本法の趣旨に沿って、教員の選考を行うとともに、ダイバーシティ研究環境実現の取組を推進しています。
  - ・若手研究者キャリア支援事業：若手研究者（出産・育児負担のある女性研究者及び男性研究者）に研究活動の維持・促進、キャリア支援を行う目的で研究支援員を配置する制度です。
  - ・研究者キャリア支援事業：出産・育児・病气けが等治療・介護・管理運営等業務のため研究活動に支障が生じた場合、事案ごとに、研究者本人、または該当研究者が所属する研究室に研究支援員を配置する制度です。（管理運営業務に対する支援は女性研究者限定）
  - ・夫婦帯同雇用支援事業：教員のパートナーが研究者でありかつ別居している場合、該当研究者が一定期間研究活動を行うことができるように本学の研究者として採用する制度です。
  - ・保育施設：「えみかキッズ」（城北キャンパス）、「あいあいキッズ」（重信キャンパス 医学部附属病院保育施設）の2箇所を設置しています。「あいあいキッズ」には、病児保育制度もあります。
  - ・学童保育：春・夏・冬の長期休暇中の学童保育を実施しています。また、「あいあいキッズ」では、通年の学童保育を実施しています。
- (2) 個人情報保護のため、応募書類に記載された個人情報は、選考及び採用以外の目的には使用しません。また、応募の秘密は厳守します。  
なお、選考の結果を愛媛大学公式ウェブサイトで公表する際、採用候補者の氏名については公表させていただきます。  
愛媛大学採用情報：<https://www.ehime-u.ac.jp/recruit/>

注) テンユア教員育成制度

愛媛大学では、教育・研究・マネジメントにバランスの取れた総合力の高い大学教員の育成を目指して、平成25年4月から「テンユア教員育成制度」を導入しました。  
新規採用された講師、助教ならびに一部の実務家教員等（教授、准教授等）について、5年の任期中の最初の3年間で、本学教員としての業務全般に関わる能力開発プログラム（合計100

時間以上)と、研究費の配分等の財政的支援を提供します。

期間中の3年目に中間審査を、5年目に最終審査を実施し、中間審査または最終審査に合格した者をテニユア職(終身雇用)に移行させます。ただし、最終審査に不合格となった場合は、5年で任期満了となります。

なお、詳細については本制度に関するホームページ  
(URL : <http://ts.adm.ehime-u.ac.jp/>) をご覧ください。